

第5学年『家庭科』年間指導計画

わたしたちの家庭科(開隆堂)

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	ガイダンス	わたんで変わるよ	表紙～7	・これまでの自分の成長を自覚し、なりたい自分をイメージしたりよりよい家庭生活について考えたりして2学年間の学習の見通しをもつことができる。	1	・自分の成長や家族・家庭生活について、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。			○	発言記録	特別活動(小1など) 生活科(小1・2) 社会(小3) 理科(小3・4)	
	毎日の生活を見つめてみよう	生活を支える家族の仕事を	8・9	・毎日の生活を見つめて、生活を支える家族の仕事にはどのような種類があるかがわかり、どのように取り組んだらよいのかを考えることができる。	1	・家庭の仕事にどのように取り組んだらよいかを考えている。		○		発言記録	自分の成長には多くの 人々の支えがあったこと・支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつこと(小2生活)	生活時間をマネジメント(6年)
		なぜだ調理をする	10～13	・調理の手順や加熱用調理器具の安全な取り扱い方がわかり、湯をわかしてお茶をいれることができる。	1	・加熱用調理器具の安全な扱い方がわかり、湯をわかして、お茶をいれることができる。	○			行動観察記録		できることを増やしてクッキング(6年) こんだてを工夫して(6年) 日常食の調理をする(中1) 肉の調理を工夫する(中1) 魚の調理を工夫する(中1) 野菜の調理を工夫する(中1)
5	クッキングはじめの一步	ゆでて食べよう	14～17	・青菜のゆで方がわかり、ゆでることができる。 ・じゃがいものゆで方がわかり、ゆでることができる。	4	・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び、加熱調理器具の安全な取扱い、材料に応じた洗いや、調理に適した切り方やゆで方、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。 ・おいしく食べるために、ゆでる調理の仕方について問題を見だし、課題を設定している。 ・ゆでる調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	発言記録 行動観察		
		作ろう おいしい料理を	18・19	・必要な材料や手順を考え、調理計画を立てることができる。 ・調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができる。	3	・材料に適したゆで方について理解しているとともに、適切にできる。 ・おいしく食べるためにゆでる調理の調理計画について考え、工夫している。 ・ゆでる調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。	○	○	○	発言記録 行動観察		
	振り返り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト			

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
6	ソーイングははじめの一步	ぬえの針だろ糸うで	20	・この題材でできるようになること、製作するものなどを具体的に知り、見通しをもって取り組むことができる。		・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解できるとともに、適切にできる。 ・練習縫いをする中で、糸の準備の仕方やそれぞれの縫い方の特徴をつかみ、適切に縫うためにはどうしたらよいか考えて取り組んでいる。	○	○	○	発言 行動観察 作品記録		衣服の手入れで快適に(6年) ソーイングで生活を豊かに(6年) 生活を豊かにするための工夫をする(中2) 衣服の手入れをする(中2)
		どのような用具や方法でぬうのだろう	21～24	・玉結びと玉どめの役割と作り方がわかり、適切な位置に適切な大きさの玉結びを作ることができる。 ・なみ縫い・返し縫いの作り方がわかり、適度な大きさで縫うことができる。 ・それぞれの縫い方の特徴から、その用途を考えることができる。 ・ボタン付けの作り方がわかり、じょうぶにボタン付けをすることができる。 ・かがり縫いの作り方がわかり、適度な大きさで縫うことができる。	5	・手縫いによる目的に応じた縫い方について、自らの課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○	○	○	発言 行動観察 記録		
		うぬいを生活に生かそう	25～27	・自分の生活を豊かにするための小物を考え、作り方の手順を考え、見通しをもって製作できる。 ・自分の製作をふり返って、できるようになったことやこれからもっとやってみようなど考えることができる。	3	・製作に必要な材料や手順がわかる。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作に、習得した技能を適切に用いてよりよい方法を考えながら取り組んでいる。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。	○	○	○	発言 行動観察 記録		
		り返り振		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
	整理・整とんで快適に	すなげの整理ろ・整とんを	28・29	・整理・整頓の仕方について問題を見だして課題を設定することができる。	1	・整理・整頓の仕方について問題を見だして課題を設定している。		○		発言 記録	資源の確保とごみの処理(小4社会)	クリーン作戦で快適に(小6) 持続可能な社会のために(小6) 健康で快適な室内環境を工夫する(中2) よりよい住生活を目指して(中2)
		整理・整とんをしよう	30・31	・住まいの整理・整頓の仕方を理解するとともに、それに係る技能を身に付けることができる。 ・住まいの整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。 ・環境に配慮した物の使い方について理解することができる。	2	・住まいの整理・整頓の仕方を理解するとともに、適切にできる。 ・住まいの整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・環境に配慮した物の使い方について理解している。	○		○	発言 行動観察 記録		
		全身にのりようを快適で安	32・33	・整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとする事ができる。 課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする事ができる。	1	・整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとしている。 ・整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。			○	発言 行動観察 記録		
		り返り振		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
7	できるよ家庭の仕事	工つ自夫け分よいてできる仕事をしよう	34・35	・学んだことをふり返って自分にできる仕事を見つけ、実行の計画を立てることができる。	1	・学んだことを生かして、自分なりの仕事の工夫を考えて計画を立てている。 ・課題に向かって意欲的に取り組んでいる。		○	○	発言 記録 行動観察	家族や身近な人々の役割に気付くこと(小2生活) 火の使い方(小4理科)	生活時間をマネジメント(6年) できることを増やしてクッキング(6年) こんだてを工夫して(6年) 日常食の調理する(中1)
		り返り振	36	・自分の仕事として、工夫しながら続けることができる。	1	・仕事を工夫して実践したり、実践をふり返り改善しようとしてしている。		○		発言 記録 行動観察 テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9	ミシンで楽しくソーイング	ミシンぬいのよさは何だ	38	・身の回りの生活にはミシンで作られているものが多いことに気づき、ミシンに関心をもち、ミシン縫いの特徴がわかる。		・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作(ミシン縫い)について問題を見いだして課題を設定している。	○			発言記録		ソーイングで生活を豊かに(6年) 生活を豊かにするための工夫をする(中2)
		ミシンの使い方を知らう	39～41	・ミシンの安全な使い方を知り、ミシンの準備やから縫いができる。	5	・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○		○	発言行動観察 作品記録		
10	ミシンを使って製作しよう	ミシンを使って製作しよう	42～47	・ミシンを使って布を用いて製作するものを考え、製作計画を立てて製作し、活用することができる。	6	・製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画について理解している。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作について、製作計画を考え工夫している。 ・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。	○	○	○	発言行動観察記録		食料生産(小5社会) 生活の道具(小3社会)人の体のつくりと働き(小6理科) 植物の発芽、成長、結実(小5理科) 健康な体(小)3体育
		り返り振		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
11・12	食べて元気に	だならぜう毎日食事をするの	48	・なぜ、食事が必要なのかに気付く事ができる。		・食事の役割がわかり、日常の食事の大切さについて理解している。	○			発言記録		できることを増やしてクッキング(小6) こんだてを工夫して(6年) 日常食の調理をする(中1) 地域の食材を生かした調理をする(中1)
		ご飯とみそ汁を作って食べよう	49～55	・炊飯の仕方を理解するとともに、技能を身に付けることができる。 ・和食の基本となるだしや、みそ汁の調理の仕方を理解するとともにみそ汁作りの技能を身に付けることができる。 ・ご飯とみそ汁の二品を同時に仕上げる事ができるように、ご飯とみそ汁作りの計画を立てることができる。 ・食品の栄養的な特徴について課題の解決に向けて主体的に取り組む、五大栄養素の種類と体内での働きがわかる。 ・食品に含まれている栄養素の主な働きにより、食品を3つのグループに分けることができる。	10	・日本の伝統的な配膳の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・米飯の調理に必要な米や水の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・みそ汁の調理に必要な材料の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ・食品の栄養的な特徴について理解している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画について考え、工夫している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	発言行動観察記録		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		日常の食事に生かそう	56	・栄養を考えた食事やご飯とみそ汁の調理の仕方についてふり返り、生活を工夫し、実践しようとするができる。	1	・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について工夫し、実践しようとする。	○	○		発言 行動観察 記録		
		り 返 り 振		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
1	生活を支える物やお金	よ う や お 金 の 使 い 方 を 考 え	58・59	・消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さを理解することができる。	1	・消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さを理解している。	○			発言 記録		持続可能な社会のために(小6) 消費者としての自覚を持つ(中2) 販売方法と支払方法について知る(中2) 商品の選択と購入について考える(中2) よりよい消費生活を目指す(中2)
		買 い 物 の 仕 方 を 考 え よ う	60～64	・身近な物の選び方、買い方について理解することができる。 ・購入するために必要な情報の収集・整理を理解するとともに、それに係る技能を身に付けることができる。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。	2	・身近な物の選び方、買い方について理解している。 ・購入するために必要な情報の収集・整理を理解するとともに、適切にできる。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○		○	発言 行動観察 記録		
		う こ れ か ら の 生 活 に 生 か そ	65	・身近な物の選び方、買い方について考え、工夫することができる。 ・身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりすることができる。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとすることができる。	3	・身近な物の選び方、買い方について考え、工夫している。 ・身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		
		り 返 り 振		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
2	着方の工夫で快適に	ろ な う ゼ 衣 服 を 着 る の だ	66	・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。	2	・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。			○	発言 記録	健康な生活(小3体育科) 金属・水・空気と温度・天気の様子(小4理科)	衣服の手入れで快適に(小6) 衣服の働きを考える(中2)
		を 衣 知 服 ろ う 働 き	67・68	・衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解することができる。		・衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。	○			発言 記録		
		快 適 で 安 全 な 着 方 を 工 夫 し よ う	69	・日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 ・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。	1	・日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		
		り 返 り 振		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
3	暖かい住まい方で快適に	なまだいろはなぜ必要	70	・寒い日を快適に過ごすために、工夫していることに気付くことができる。	2	・住まいの主な働きがわかり、季節の変化に合わせた生活の大切さについて理解している。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○		○	発言 行動観察記録	健康な生活(小3体育科) 光と音の性質・太陽と地面の様子(小3理科) 金属・水・空気と温度・天気の様子(小4理科) 我が国の国土の地形や気候(小5社会) 燃焼の仕組み・人の体とのつくりと動き(小6理科)	すずしい住まい方で快適に(小6) 健康で快適な室内環境を工夫する(中2) よりよい住生活を目指して(中2)
		うま暖かい方を快適に考えよう	71・72	・寒い季節の住まい方について課題を見いだし、快適に過ごすための工夫を考えることができる。		・季節の変化に合わせた住まい方について理解している。 ・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見いだして課題を設定している。	○	○		発言 記録		
		方暖かく工夫快適な住まい	73	・自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践することができる。	1	・季節の変化に合わせた住まい方について考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		○	○	発言 行動観察記録		
		り振り返		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
	いっしょに「ほっとタイム」	なほときとだるうのは、どのよう	74	・家族や周囲の人々との触れ合いや団らんに関心をもち、その大切さがわかる。 ・家族や周囲の人々との触れ合いや団らんを楽しむことや、自分の思いの伝え方について計画を考えたり、工夫したりすることができる。	1	・家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。 ・家族とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。	○	○		発言 記録		共に生きる地域での生活(小6) 家庭や家族の機能について考える(中1)
		よ画イほうをムつ立のとて計タ	75			・家族とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。		○		発言 行動観察記録		
		に続ほけつようタ！イイムっしょ	76・77	・家族や周囲の人々など、自分の身近な人との触れ合いや団らんをふり返って考えたことを話し合い、これからの自分の生活の中で生かすことを考え、工夫することができる。	1	・家族とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ・家族とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		○	○	発言 行動観察記録		
		り振り返		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		

第6学年 『 家庭科 』 年間指導計画

わたしたちの家庭科(開隆堂)

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	生活時間をマネジメント	使った時間をどのよう に	84	・自分がどのように時間を使っているかをふり 返り、課題を見つけて、 有効な時間の使い方を 考えることができる。	2	・自分の時間の使い方の 課題を見つけて、解決 方法を工夫し、有効な時間 の使い方を考えている。		○		発言 記録	毎日の生活を見つめ てみよう(小5) できるよ家庭の仕事 (小5)	
		課題を見つけて時 間をマネジメント	85・ 86									
		継続しよう！生活時間 の	87	・時間の使い方を工夫 して生活することができる。	1	・生活時間を工夫し有効に 使うことで、自分や家族の 生活が円滑に営まれるこ とを理解している。 ・生活時間の課題解決に 向けて意欲的に取り組ん だり、時間の使い方を工夫 して生活しようとしてい る。	○		○	行動観察 記録		
		「ゆめ調理」は調理が「うい たため	88	・「いためる調理」の特 徴を知り、おいしくいた めるための課題を設定 することができる。	1	・おいしく食べるために、 いためる調理の仕方につ いて問題を見い出して、 課題を設定している。		○		発言 記録	クッキングはじめの一 歩(小5) できるよ家庭の仕事 (小5) 食べて元気に(小5)	食事の役割について 考える(中1) 栄養素の種類と働き を知る(中1) バランスの良い食事 について考える(中1) 日常食の調理をする (中1)
5	できることを増やしてクッキング	いためる調理で おかずを作ろう	89 ～ 91	・野菜をおいしくいた めるための調理計画を考 え、工夫することができる。 ・材料に適したため 方について課題の解決 に向けて主体的に取 組もうとすることができる。 ・いためる調理の仕方 について、実践を評価 したり改善したりするこ とができる。 ・いためる調理に必要 な用具の安全な取扱 い、味の付け方、盛り付 け、後片付けについて 理解しているとともに適 切にできる。	6	・調理に必要な用具の安 全な取扱いや、調理に適 した切り方、味の付け方、 盛り付け、後片付けにつ いて理解しているときに 適切にできる。 ・材料に適した切り方や いためる方について理 解しているときに適切 にできる。 ・おいしく食べるために いためる調理の調理計 画について考え、工夫 している。 ・おいしく食べるために いためる調理の調理計 画について実践を評価 したり改善したりし ている。 ・材料に適したため方 について課題の解決に 向けて主体的に取り組 もうとしている。 ・材料に適したため方 について、課題の解決 に向けた一連の活動を ふり返って改善しよう としている。	○	○	○	発言 行動観察 記録		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
6		朝食を食べよう	92・93	・食事の役割がわかり、朝食を食べることの大切さについて理解することができる。 ・材料に適したため方や朝食に合うおかず作りについて工夫し、実践しようことができる。	2	・食事の役割がわかり、日常の食事の大切さについて理解している。 ・材料に適したため方や朝食にあうおかず作りについて工夫し、実践しようとしている。	○		○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
	クリーン作戦で快適に	すなげのそだうろじを	94	・住まいの清掃の必要性に気づき、清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定することができる。	1	・清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定している。		○		発言 記録	整理・整とんで快適に(小5)	健康で快適な室内環境を工夫する(中2) よりよい住生活を目指して(中2)
		しよごうれに合ったそうじを	95・96	・汚れやごみの種類、その場所に合った清掃の仕方・用具を考えて計画を立て、工夫をして掃除をすることができる。 ・汚れの特徴に合った洗剤を選び、環境に配慮しながら、安全に使用することができる。	2	・住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ・清掃の仕方について、様々な解決方法を考え、実践に向けた計画を立て、工夫している。 ・清掃の仕方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○	○	○	発言 行動観察 記録		
	衣服の手入れで快適に	う身の回りを快適にしよ	97	・学校内の清掃の仕方についての課題解決に向けた一連の活動をふり返って評価・改善することができる。 ・学校での実践をもとに、家庭での実践を考え、家庭生活を快適にしようすることができる。	1	・清掃の仕方について、実践を評価・改善している。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと清掃の仕方について工夫し、実践しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
		ろをなうすげの手入れ	98	・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。		・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。			○	発言 行動観察	ソーイングはじめの一步(小5) 着方の工夫で快適に(小5)	衣服の手入れをする(中2)
		を衣服のう手入れ	99～101	・日常着の手入れが必要であることを理解することができる。 ・洗濯の仕方を理解することができる。 ・洗濯が適切にできる。	3	・日常着の手入れが必要であることを、洗濯の仕方を理解しているとともに、洗濯が適切にできる。	○					
		手入れの工夫を調べよう	102	・日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 ・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようことができる。	1	・日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	すずしい住まい方で快適に	住健康で快適な	104	・暑い季節を快適に過ごすために、工夫していることに気付くことができる。	1	・健康で快適な住まい方の大切さを理解している。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○		○	発言 行動観察 記録	暖かい住まい方で快適に(小5) 太陽と地面の様子(小3理科) 金属・水・空気と温度(小4理科) 我が国の国土の地形や気候(小5社会) 病気の予防(小6体育)	住まいの役割と住まい方を考える(中2) 衣服の働きを考える(中2) 衣服の手入れをする(中2)
		う方適すをなす考住しえまよく快	105～107	・暑い季節の住まい方について課題を見だし、快適に過ごすための工夫を考えることができる。	2	・すずしく快適な住まい方について、理解している。 ・暑い季節の住まい方について問題を見だして、課題を設定している。	○	○		発言 記録		
		そ考生うえ活、快適生活にラ生かを	108	・自分の生活に合わせて生活快適プランを考え、快適な住まい方を実践しようとするすることができる。	1	・快適な住まい方について考え、考えたことを表現するなどを身に付けている。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
9	ソーイングで生活を豊かに	ろいふどうやくのするよいがうだ使な	110	・身近な布のふくろについて関心をもち、使う目的に応じた工夫を見つけることができる。		・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について問題を見だして課題を設定している。		○		発言 記録	ソーイングはじめの一步(小5) ミシンで楽しくソーイング(小5)	生活を豊かにするための工夫をする(中2) 生活の課題と実践(中2)
		目的に合ったふくろを作ろう	111～115	・布を用いたふくろの製作について問題を見だして課題を設定することができる。 ・自分の作りたいふくろの材料や手順がわかり、製作計画を立てることができる。 ・用具の安全な取り扱いを理解し、布を裁断し、正しくしるしをつけることができる。 ・製作計画をもとに、縫い方や手順を考え、工夫して製作することができる。	10	・製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画について理解している。 ・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに適切にできる。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作について考え、工夫している。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○	○	○	発言 行動観察 作品 記録		
		に作ったふくろで生活を豊かに	116・117	・製作計画や製作の仕方について評価したり、改善したりして、生活をよりよくする工夫を考えることができる。	1	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について、実践を評価したり改善したりしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現している。		○		発言 記録		
10		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		い組料 だみ理 ろ合や うわ食 せ品を て食ど べのよ うによ	118	・1食分の献立の栄養 バランスについて問題 を見いだして課題を設定 することができる。	1	・1食分の献立の栄養バ ランスについて、問題を見 だして課題を設定してい る。		○		発言 記録	クッキングはじめの一 歩(小5) できるよ家庭の仕事 (小5) 食べて元気に(小5) 体の発育・発達(小4 体育科) 病気の予防(小6体育 科)	バランスの良い食事 について考える(中1) 何をどのくらい食べれ ばよいか考える(中1) 生鮮食品と加工食品 の特徴を知る(中1) 食品の選択と購入に ついて考える(中1) 日常食の調理をする (中1) 生活の課題と実践(中 1)
11	こんだてを工夫して	よ1 う食 分の こん だて を立 て	119 ～ 121	・献立を構成する要素 がわかり、1食分の献 立作成の方法について 理解することができる。 ・1食分の献立の栄養 バランスについて考え、 工夫することができる。 ・栄養を考えた食事につ いて、課題の解決に向 けて主体的に取り組も うとすることができる。	2	・献立を構成する要素が わかり、1食分の献立作 成の方法について理解し ている。 ・1食分の献立の栄養バ ランスについて考え、工 夫している。 ・栄養を考えた食事につ いて、課題の解決に向 けて主体的に取り組も うとしている。	○	○	○	発言 行動観察 記録		
12		工夫して 毎日の 食生活 に生か そう	122 ～ 124	・1食分の献立作成や おいしく食べるための 調理の仕方について、 課題解決に向けた一連 の活動をふり返って改 善しようとすることが できる。 ・1食分の献立作成や おいしく食べるための 調理の仕方について課 題解決に向けた一連の 活動について、考えた ことをわかりやすく表 現することができる。 ・家族の一員として、生 活をよりよくしようと、 栄養を考えた食事やおい しく食べるための調理 の仕方について工夫し 、実践しようすること ができる。	7	・材料に適したゆで方 やいため方を理解し適 切に調理できる。 ・1食分の献立作成や おいしく食べる調理の 仕方について問題を見 だして課題を設定し様 々な解決方法を考え、 実践を評価・改善し、 考えたことをわかりや すく表現している。 ・家族の一員として、生 活をよりよくしようと、 栄養を考えた食事やおい しく食べるための調理 の仕方について工夫し 、実践しようとしてい る。	○	○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元末テスト		・既習事項を理解してい る。	○	○		テスト		
1	共に生きる地域での生活	わ地域 の見人 つため ちよう のかか	126 ・ 127	・家庭生活は地域の 人々との関わりで成り 立っていることがわか り、地域の人々との協 力が大切であることが 理解できる。	1	・家庭生活は人々との関 わりで成り立っているこ とがわかり、地域の人々 との協力が大切である ことを理解している。	○			発言 記録	いっしょに「ほっとタイ ム」(小5) 家族等日頃世話にな っている人々への感謝 (小1～5道徳) 自然災害の防止(小5 社会)	家庭生活と地域との 関わりを考える(中1) 家庭や家族の機能に ついて考える(中1) 中学生としての自立を 考える(中1)
		動地域 でのみ 人たう ちとか かわり 行	128 ・ 129	・地域の人々とのより よい関わりについて、 問題を見いだして課題 を設定したり、課題の 解決に向けて「地域か かわりプロジェクト」の 計画を立て、実践し たりすることができる。	2	・地域の人々とのより よい関わりについて、 問題を見いだして課題 を設定している。 ・地域の人々とのより よい関わりについて、 実践に向けた計画を 考え、工夫している。 ・地域の人々とのより よい関わりについて、 課題の解決に受けて 主体的に取り組も うとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
2		う 地域の 人々と共に 生きよう	130・131	・「地域かかわりプロジェクト」の実践をふり返って実践計画を評価・改善し、地域の人々と、よりよく関わっていくために考えたことを表現し、家族や地域の人々との関わりについて生活を工夫しようとするができる。	2	・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ・地域の人々とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
3	持続可能な社会のために	う 関生活 を考慮 環境よ	132	・自分の生活と身近な環境が相互に関係していることに気付くことができる。	1	・自分の生活と身近な環境が関係していることに気付いている。 ・環境に配慮した生活について考えている。	○	○		発言 記録	整理・整とんで快適に(小5) 資源の確保とごみの処理(小4社会) 環境保全(小5社会) 工業生産・運輸(小5社会)	健康で快適な室内環境を工夫する(中2) よりよい住生活を目指して(中2)
		う 関生活 を考慮 資源よ	133	・人や環境に配慮した、資源としてのものの扱い方を理解し、日頃の生活においても自分ができるような工夫をすることができる。	1	・地球の資源やエネルギーを効率よく循環させることの重要性を理解している。 ・身近な生活でできる、人や環境に配慮した工夫について考えている。	○	○		発言 記録		
		う 生活 の中で 取り組も	134・135	・持続可能な社会構築の視点から、今後自分も家庭生活の中で取り組む内容や生活の工夫について考えることができる。	1	・生活を見直し、資源やエネルギーの使い方について問題を見だし、課題解決の方法を考えている。 ・持続可能な社会の構築の視点から、自らの家庭生活をふり返り、よりよい生活の仕方を工夫しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
		校2に年 つ間の げ学習 を中学	136・137	・2年間の学習をふり返り、できるようになったことを確認することができる。 ・中学校での学習に興味をもち、意欲を高めることができる。	1	・2年間の家庭科学学習で学んだことの活用の仕方を理解している。	○			発言 記録		
	生活の課題と実践	課題・計画		・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。	1	・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりの中から問題を見いだして課題を設定している。 ・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて、よりよい生活にするための解決方法を考え、計画を工夫している。 ・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて実践した結果を評価したり改善したりしている。		○	○	発言 行動観察 記録	※課題の設定・計画・評価を2時間で想定し、実践は長期休業中などの時間外にしています。指導学年・時期は限定されません。	
		発表		・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとするができる。	1	・家族や地域の一員としてよりよい生活にするために、家庭の仕事又は、地域の人々との関わりを工夫し、実践しようとしている。						